

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 17 日

事務事業名		被災住宅復興支援利子補給事業			事業区分		担当		
					新規/継続	継続	事務事業No.	050202000777	
					単独/補助	補助		060201	
政策体系	総合計画の施策名		0502 景観の良い住環境の保全					所属課	都市整備課
	政策名		05 快適な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名		02 景観の良い住環境の保全					グループ	都市政策G
	手段名		02 ②定住・空き家支援の推進					担当者名	
財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	04	01	02	00	都市計画総務事業		
							期間限定複数年 (平成25年度～令和5年度)		
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠 桜川市被災住宅復興支援利子補給金交付要綱、桜川市被災住宅復興支援(利子補給事業)実施要領									

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順						
	<p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災者等で対象要件に該当する方が、指定対象金融機関(住宅金融支援機構・銀行・信用金庫・信用組合・JAバンク等)から融資を受けて、被災住宅の補修や被災住宅に代わる住宅の建設等を行う場合に、当該融資に係る利子補給金を交付するものです。</p> <p>平成23年3月11日以降であれば、既に融資を受けている方も対象となります。</p> <p>〈対象者要件〉市が発行する罹災証明書で大規模半壊・半壊・一部損壊の判定を受けた住宅(被災住宅)を自己又は親族が所有する方で、かつ、市税に滞納のない方。ただし、被災住宅を解体して被災者生活再建支援金を受給した方は除きます。</p> <p>〈利子補給率〉最大2.0%</p> <p>〈利子補給期間〉最大5年間</p>		<ul style="list-style-type: none"> 市広報誌、市内金融機関等への周知広報活動 対象者要件の確認 申請受付 交付決定及び通知 交付事務 						

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市広報誌、市内金融機関等への周知広報活動 ・対象者要件の確認 ・申請受付 ・交付決定及び通知 ・交付事務	新規利子補給申請件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	継続利子補給件数	件	17.00	11.00	5.00	2.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
東日本大震災の被災者等で、融資を受けて被災住宅の補修等を行う者。	被災住宅の補修等を行う市民	人	17.00	11.00	5.00	2.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
融資に対して利子補給をおこなうことで、被災住宅の補修を促進する。	利子が無くなったか、もしくは軽減された人数	人	17.00	11.00	5.00	2.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		01年度	02年度	03年度		期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円	83	43	23	161
		県支出金	千円	621	433	120	1,182
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	84	45	23	172
		事業費計 (A)	千円	788	521	166	1,515
	正規職員従事人数	人	2.00人	0.00人	2.00人		

02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
18 負担金補助及び交付金	521			18 負担金補助及び交付金	166		
合計		521		合計		166	

事務事業名	被災住宅復興支援利子補給事業	事務事業No.	50202000777	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに開始された。 東日本大震災発生から10年が経過し、市内における被災住宅の補修は概ね完了したものととして新規受付はしていない。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 震災復興に係る事業であり、住環境の整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 激甚災害からの復興事業であるため国・県・市が公費を投入する必要がある。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 東日本大震災発生から10年が経過し、市内の住宅補修は概ね完了したものととして新規受付をしておらず、向上余地はない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 新規受付はしていないが、融資に対する利子補給は複数年にまたがるものであり、交付決定ぶんが完了するまでは事業を継続する。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 決定された補助率の中で利子補給をおこなうもので、削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 天災は誰もが被害者になりうるものであり、それを救済する当事業は公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成30年度で新規受付は終了となり、令和5年度で交付事業は完了する予定である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/> 確認	